

2025 年 5 月 15 日

飯田市長 佐藤健 様

リニアから自然と生活環境を守る沿線住民の会

代表世話人 熊谷清人

〃 大坪勇

〃 北林強

飯田市の諮問機関として「リニア新幹線に関わる対策委員会」の設置を求めます

リニアを市の町づくりの中心に据え、多大な公的資金を投じているにもかかわらず、今回の要対策土の持ち込み問題などに関しては、上郷飯沼地区、座光寺共和地区の住民への J R 東海の説明会だけで了解が得られたこととされてきました。

しかし、こうした問題については、各団体の代表や有識者・公募委員などで構成する委員会で情報を共有し、問題点を明らかにしていくことが求められます。

今回の要対策土の持ち込みに関する県知事助言では、河川・井戸の定期的な調査、そのための調査地点の設定、調査結果からの異常値の判断、活断層の把握などを行うことについて、地元自治体である飯田市としても情報共有をすることが具体的に指摘されています。

漏洩が、発生した場合、市としても独自調査を行い汚染源への具体的な対策を求めることなども必要です。

こうした状況から早急に飯田市として専門家を含めた対策委員会を設置することが急務です。

また、岐阜県瑞浪市大湫地区などで井戸や湧水が枯渇し、水枯れが問題となっています。そして地盤沈下が進行中です。これは、トンネル掘削が地下水に影響を与えていると見られています。

昨年末からは飯田市の風越山トンネルの施工ヤード工事が始まり、28 年度から本坑の掘削が始まるとのことですが、掘削による、水資源への影響、土地陥没などの問題、工事中の騒音、日照権の問題、工事車両の運行などについて大変危惧されるところです。飯田市として対策委員会をつくり、情報共有し、協議する場を設けることが必要です。

以下のように、近隣の沿線町村では協議会・対策委員会がつくられ、情報共有・協議が行われています。

大鹿村 連絡協議会 リニア事業関係者、長野県、大鹿村及び住民の委員で構成

豊丘村 リニア対策委員会 地区代表・議会・農業委員会・商工会・P T A 代表などで構成

中川村 対策協議会 村長及び副村長、関係する自治組織を代表する者・村議会の議員・有識者・公募委員で構成

松川町 工事対策委員会 区会代表・町議会議員・識見を有する者・行政関係機関及び関係団体代表・公募委員などで構成

喬木村 対策委員会 村議会の代表・行政機関の代表・関係団体の代表・区会及び自治会の代表・識見を有する者などで構成

阿智村 リニア対策委員会 村議会の代表・行政機関の代表・関係団体の代表・区会及び自治会の代表・識見を有する者などで構成

南木曾町 対策協議会 各地域振興協議会長または代表・公益財団法人妻籠を愛する会代表・学識経験者・議会代表・商工会・森林組合・観光協会など各団体の代表・公募委員・町長・職員などで構成

このように、沿線町村のほとんどで設置されている対策委員会・連絡協議会が飯田市では未だに設置されていません。

早急に飯田市としても、有識者と公募委員を含めた対策委員会を設置するよう求めます。

以上